

令和8年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



# 共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

## 【第2講座を開催して】

8月4日（火）、秋芳地域まちづくりセンターにおいて、令和8年度美祢市人権教育ふれあい講座（第2講座）を開催しました。

『アンコンシャス・バイアス』をテーマとして、下関市立大学教養教職機構 教授 石川 朝子（いしかわ ともこ）氏から、「私にもある？無意識の思い込み」と題して、御講演いただきました。

石川先生には、昨年度11月にも美祢市民会館でアンコンシャス・バイアスに関する御講演をしていただいています。今回も、日常の様々な場面で私たちが遭遇しそうな例を挙げながらお話ししていただき、自分事として考えることができました。



## 【受講者の主な感想】

- ・日常生活において、ついつい思い込みから話している事があり注意しなければならないと思った。
- ・自分が気づいていない発言に無意識な思い込みがないように気をつけたい。人への押し付けがないようにしていきたい。
- ・ビデオ視聴があり、分かり易かった
- ・聞き慣れないテーマであったが、大変参考になる話を聞かせていただき、今後に活かしていきたい。
- ・マイクロアグレッションという言葉は初めて知りました。自分では褒めているつもりでも相手を傷つけてしまったり、無自覚に相手を不快にさせたりする可能性があるのだと知り、ハッとさせられました。自分の発言がどう受け止められるかを意識し、日頃から言葉選びに気をつけたいと思います。
- ・マイクロアグレッションという言葉の意味を正確に理解できていなかったが、例えを交えてお話しいただいたので、理解ができた。日頃ついつい言ってしまうような言葉のやり取りもあったので、教育現場では特に気をつけていきたいと思います。
- ・世の中には、傾向を捉えることがよくあり（Z世代など）、その人たちの行動などを一括りに捉

えがちだと思う。それもアンコンシャスバイアスに該当するのではないかと感じた。

- アンコンシャスバイアスなどの単語自体初めて聞いたので、定義や事例を分かりやすく聞けて大変有意義な講座でした。
- アンコンシャスバイアスやマイクロアグレッションの具体例が「女性・男性」や「日本人・外国人」に偏りすぎていて、これではかえって問題が矮小化されて伝わるのではないかと思った。実際にはこれら以外にも様々なシチュエーションでマイクロアグレッションは起こっていると感じているので、もっと例を豊富にして欲しい（例えば趣味、年齢、職業、組織内の役職、など）。でないと、日頃マイクロアグレッションを行っている人が自覚して行動を改める機会にならないと思う。そればかりではなく、自分はマイクロアグレッションをしていない、大丈夫だと誤認することになると思う。
- とてもわかりやすく、内容も身近なテーマだったので時間があっという間に感じた。自分自身、無意識な思い込みは今でも多くもっていると感じた。良かれと思って言ったことでも知らないうちに人を傷付けてしまうことがあると気付くことが出来てよかった。
- 無意識に刷り込まれている思い込みなどは、なかなか改善は難しいと思いますが、こうした講座を受けることなどにより、意識していくことが大事だと感じました。
- 身近に起こっている問題について一つ一つの事例に基づき、大変分かりやすく説明をいただいた。1時間半があっという間であった。ただ、理論だけでは解決できない課題も多く、デジタル社会への不安もある。
- 思い込みの割合が、自分の中に大きな部分を占めていると、改めて感じました。
- 自身の無意識な思い込みが、思いの外に多い事に気付きました。気を付けたいと思います。
- アンコンシャスバイアスについて関心があり、マイクロアグレッションについてももっと知りたいと思っていました。石川先生のお話は分かりやすいと聞いていたので、とても楽しみにしていました。具体的な例をあげながら話してくださったので、とても分かりやすく聞くことができました。最後時間が足りなかったようでしたが、あっという間に時間がきてしまい、もっと聞きたいと思いました。
- 無意識の思い込みを講座が始まってすぐに思い知らされました。受講してとても良かったです。
- 普段の会話の中でのアンコンシャスバイアスやマイクロアグレッションなど考えることができた。もしかすると自分も無意識にしていたかもしれないと思った。
- 講師が、受講者の様子を確認しながら講義されていたのが良かったです。